

故郷を愛した作家・藤沢周平の作品にふれる

○問合せ 藤沢周平記念館 ☎ 29・1880

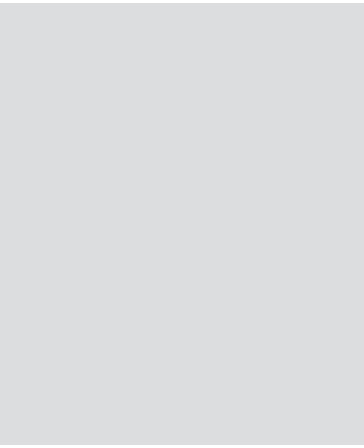
鶴岡市出身の時代小説家、藤沢周平氏。北国の小藩「海坂藩」の下級武士や、江戸のまちに暮らす庶民を主人公とした作品を数多く執筆しました。いずれの作品も端正な文章で心の機微や情景が繊細に描かれ、没後20年を過ぎても色あせることなく読み継がれています。

鶴岡市立藤沢周平記念館は、藤沢氏を育み、作品の土壌となった鶴岡・庄内全体を藤沢文学のミュージアムとして捉え、作品を豊かに味わい深める拠点として平成22年4月29日に開館。これまでに全国各地から33万人を超える藤沢ファンが記念館を訪れ、旧致道館や内川など作品の面影が感じられる史跡やゆかりの地を周遊しています。

愛用品などを展示するとともに、創作活動の場として数多くの作品を執筆した書斎を移築・再現。藤沢氏の多彩な作品世界と生涯を紹介しています。また、特定の作品やテーマに焦点を当てた企画展、講演会や朗読会などのイベントを行っています。近年では、地元高校生との共同事業「作品題名書道展」や生誕90年記念トークショー、館内でのミニ朗読会、展示解説会も行い、参加した方からは「藤沢作品を読みたくなった」とのお声も頂いています。

開館10周年を迎える今年、記念館では特別企画展や記念イベントを行うほか、新たにオリジナルグッズ一筆箋を発行します。

皆さんのご来館を心からお待ちしています。



藤沢周平氏

本名、小菅留治。昭和2年（1927）、黄金村大字高坂（現鶴岡市高坂）生まれ。昭和46年に「涙い海」でオール讀物新人賞、昭和48年に「暗殺の年輪」で直木賞を受賞。『蟬しぐれ』『用心棒日月抄』『三屋清左衛門残日録』『たそがれ清兵衛』『橋ものがたり』『海鳴り』『白き瓶』など数々の名作を残した。吉川英治文学賞、菊池寛賞などを受賞、平成7年紫綬褒章受章。平成9年逝去。



■常設展示 全作品の初版単行本を展示。藤沢氏の作品世界を分野別に紹介しています。



■再現書斎 創作・執筆活動の場として使われた自宅書斎を展示室内に移築・再現。

利用案内

- ◎所在地 市内馬場町4番6号(鶴岡公園内)
- ◎入館時間 午前9時～午後4時30分
- ◎休館日 水曜日（祝日の場合は翌平日）
年末年始
- ◎入館料 大人…320円
高校生・大学生…200円
中学生以下…無料
年間入館券…1,000円



メッセージ
「十年がたち」

遠藤展子 氏

(藤沢周平氏長女・藤沢周平記念館監修者)

鶴岡市立藤沢周平記念館が十周年をむかえました。十年の間、色々ありました。
今思うのは、地元鶴岡の皆さんに支えていただいているということですね。記念館は、運営委員の先生方、致道博物館、荘内神社、皆川市長はじめ市の関係の方々、他にも様々な方々の支えがあって今に至っています。最近は「記念館に行つて来たけれど、良かったよ」と言っていただ

くことが増えました。うれしい事です。館長や職員も十年の間に藤沢周平への知識も増え専門的になりました。皆が日々真面目に取り組んでくれたおかげです。父が亡くなって二十三年、一昨年母も亡くなりましたが、残った私達遺族は記念館と協力して、今まで以上に鶴岡市の皆さんのお役に立てる様に、一生懸命がんばりますので、これからよろしく
お願い致します。



■『藤沢周平 映像の世界』発行
(平成29年1月5日)

藤沢氏没後20年を記念して、平成28年まで公開された氏原作の映画・ドラマ作品を紹介する記念誌を発行しました。



■第14回企画展『又蔵の火』の世界
(平成31年3月29日～9月24日)

鶴岡で起きたあだ討ちを鮮烈に描いた本作品。実際に使われ、総穂寺に遺された刀を特別展示しました。

近年の**主**な事業



■作品題名書道展
(平成27年度より年1回開催)

鶴岡中央高校書道部が藤沢作品を読み、題名を揮う。若い感性にあふれた書に、多くの来館者が目を留めています。



■トークショー 作家の娘たち父を語る
(平成30年9月29日)

藤沢氏生誕90年を記念して、阿川佐和子氏、檀ふみ氏、遠藤展子氏を招いてトークショーを開催しました。

来館者の**声**

館内のアンケートに寄せられた来館者の声の一部を紹介します

丁寧で細やかな展示に、満たされた時間を過ごすことができました。一人でも多くの人に藤沢周平さんを知ってもらいたいと思います。(高松市 60代)

映像で先生のインタビューを見られて感動しました！(秋田県 30代)

すごく興味が湧いたので、たくさん読みます。ありがとうございました。(市内 10代)

とても見やすく展示されていて良かった。直筆の原稿も藤沢周平の人柄が表れているようでした。(京都府 40代)



紫綬褒章の伝達式で父・藤沢周平氏と
(平成7年11月17日/如水会館(東京都))

開館**10**周年**特**別企画

■開館10周年特別企画展

『橋ものがたり』の世界

江戸の橋を舞台に人々の出会いや別れを描いた十篇から成る『橋ものがたり』。近年、再ドラマ化もされた人気作品の魅力に迫ります。

期間 4月3日㊤～9月29日㊤

■開館10周年記念イベント

杉田成道氏(日本映画放送株式会社取締役社長)講演会

期日 7月12日㊤

会場 荘内神社参集殿

※申込方法等は後日、市広報、記念館HPで告知します。



『橋ものがたり』
愛蔵版：実業之日本社
文庫：新潮文庫

■オリジナルグッズ一筆箋 2種

来館者の皆様から多く要望を頂いていた一筆箋を制作しました。絵柄は藤沢氏の文庫装丁画を数多く手掛ける蓬田やすひろ氏による描き下ろしです。人気作品の『蟬しぐれ』『橋ものがたり』をモチーフとした2種類があります。



4月3日㊤発売
各550円